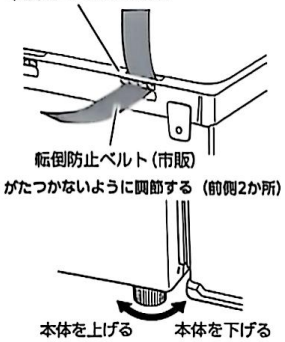


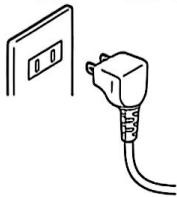
転倒防止／設置

地震で倒れないように転倒防止処置をする
転倒防止ベルト取付部



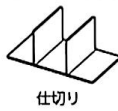
電源コードの接続

設置がすべて完了してから接続する



- 設置後は梱包材を外し、庫内のガラス棚などの部品が取り付けられていることを確認し、湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。
- 推奨する設置場所
直射日光や暖房機器の熱の当たらないところ／湿気が少なく風通しの良いところ／ラジオやテレビから離れたところ／電源プラグが挿入しやすいところ／腐食性ガスの発生しないところ／水平で丈夫な床の上
- アース（接地）をおすすめします。詳しい接続方法はWEBマニュアルをご覧ください。
- 電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込まないでください。コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因になります。約6分以上待ってから差し込んでください。

付属品



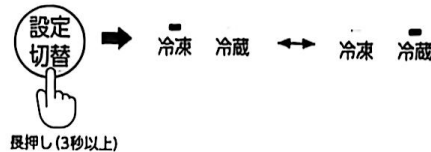
仕切り

操作パネルの使いかた



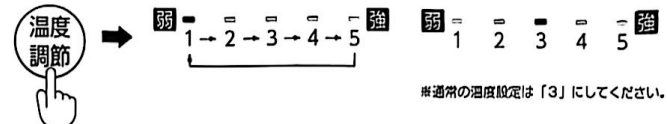
温度帯を切り替える

設定切替ボタンを長押し（約3秒以上）すると、温度帯が切り替わります。
※閉入時の設定は「冷凍」です。



温度の調節

押すたびに「1→2→3→4→5→1…」と温度設定が切り替わります。



温度調節の目安

冷凍	冷蔵
強 5 [3] より約2℃～3℃低め	強 5 [3] より約2℃～3℃低め
4 約-20℃～-18℃	4 約3℃～5℃
3 約-20℃～-18℃	3 約3℃～5℃
2 [3] より約2℃～3℃高め	2 [3] より約2℃～3℃高め
弱 1	弱 1

急速冷凍モード

※「冷蔵」設定時は使用できません。

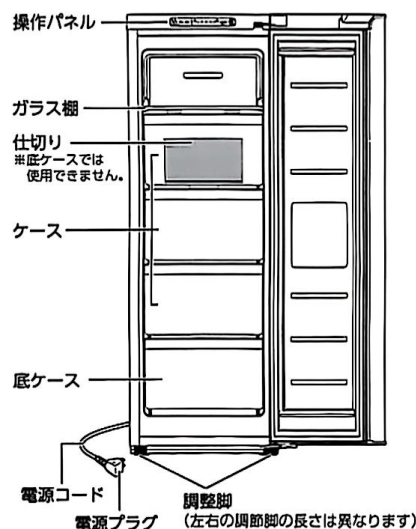
- 食品を急いで冷凍したいときにご使用ください。
- 温度調節ボタンを3秒以上長押しすると、ランプが点灯して、急速冷凍を開始します。
- 約24時間急速冷凍運転をした後、通常運転に切り替わります。
- 急速冷凍を中止したい場合は、温度調節ボタンを3秒以上長押ししてください。急速冷凍前の温度設定に戻ります。
- 霜取り中に温度調節ボタンを長押しした場合、表示ランプは点灯しますが、急速冷凍はしばらくしてから始まります。

詳しい操作方法は
WEBマニュアルで



部品の取り外しかた・取り付けかた

冷凍室内部



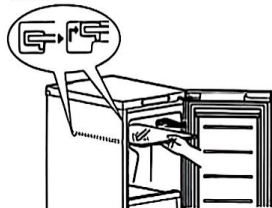
ガラス棚

取り外しかた

①ガラス棚の下ケースを外す

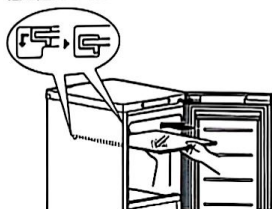


②片方の手で下側から支え、ゆっくりと手前に引き出す

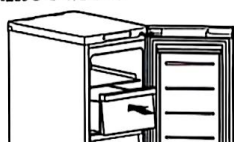


取り付けかた

①ガラス棚の両端を本体の溝に合わせて奥まで差し込んでください。



③ガラス棚の下ケースを取り付けてください。
※ガラス棚を軽く前に引いて、外れないことを確認してください。



ケース・底ケース

取り外しかた

ドアをいっばいまで開け、ケースを引き出し、上に持ち上げてください。



取り付けかた

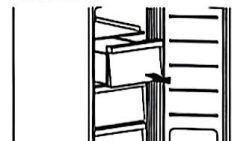
取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けてください。ケースは元の位置に戻してください。



仕切り

取り外しかた

①ケースを引き出す。



②仕切りを手前からゆっくりと上に引き出す。



置きかた

置くときは、取り外すときと逆の手順で取り付けてください。
※底ケースでは使用できません。

お手入れ

- お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤、研磨剤、金属へら、刃物、金属たわし、ナイロントわし、スポンジのナイロン面などは使用しない。
- 汚れたらすぐにお手入れする。
こびり付いた汚れなどを落とす際は、刃物やかたいものなどを使用しない。
(庫内の汚れは放置するとこびり付くおそれがあります。)
- ドアパッキンはこまめにお手入れする。
(汚れると漏れやすくなります。)

月に1回程度

庫内・外側・ドア・パッキン

よく絞ったふきんで拭く
・汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないようにかたく絞った布などで水拭きする。

3か月に1回程度

ケース・底ケース・ガラス棚・仕切り

よく絞ったふきんで拭く
または取り外して水洗いする
・洗った後、よく乾かしてから取り付ける。

年に1～2回程度

背面・壁・床・電源プラグ

乾いた布でほこりなどを取り除く
・背面の機械部分には触れない。
(運転中・停止直後は高温のためやけどのおそれ)

